

投資家向け説明会

2021年11月
日産車体株式会社

皆さま、こんにちは。

日産車体株式会社、代表取締役社長の吉村東彦です。

ただいまより、2022年3月期 第2四半期決算について説明致します。

2021年度、第2四半期の累計売上台数は6万1千台となり、新型コロナウイルス流行前の水準には届かないものの、大きく落ち込んだ前年同期の5万台から、持ち直しました。

車種別では、前年度落ち込んだ中東向けのY62パトロールや、北米向けのアルマーダ、またY61パトロールが増産となりました。

次に、売上高についてです。2021年度第2四半期の売上高は、前年同期の1,224億円に対し、1,151億円となりました。売上台数が増加したものの売上高が減少している理由は、エンジン、トランスミッション等、日産自動車からの支給部品を売上に含めない会計処理をすることになったためです。

損益面では、営業利益は前年同期のマイナス66億円に対してマイナス5億円、当期純利益は前年同期のマイナス36億円に対してマイナス2億円と、前年度に対し改善はしたものの、新型コロナウイルスや半導体供給不足の影響が続き、厳しい状況となりました。

以上が、第2四半期の実績です。

続いて、通期の予想について説明します。

半導体供給不足による減産は下期も続いており、台数については厳しい状況にあります。通期の営業利益は当初見通しから大きく減少しマイナス31億円と、大変厳しい見通しとなりました。

以上が2022年3月期 第2四半期決算についての説明になります。

お忙しい中、ご視聴いただき、誠にありがとうございました。